

少数台数のリコール届出の公表について（平成16年12月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成16年12月は下記のとおり14件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月2日	1314	車名：日野 型式：KL-HU2PMEA改 通称名：日野ブルーボンネット	12	平成12年8月23日～ 平成12年12月27日
不具合の部位等	車軸組み立ての際、前輪ハブ外側軸受け部のロックナット締め付けが不適切なもの及び前輪ハブ外側軸受け部と前輪ハブ胴部のグリース充填量が不足しているものがある。そのため、当該軸受けが締め付け不良または、潤滑不良により発熱、破損し、最悪の場合、走行不能または、火災に至るおそれがある。			

2. 届出者：マツダ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月3日	1316	車名：マツダ 型式：DBA-BK5P等 通称名：アクセラ	18	平成16年8月25日～ 平成16年9月22日
不具合の部位等	エアバッグの作動を制御するコントロール・ユニットの基板回路の半田部に微細な亀裂が発生しているものがあるため、走行中の振動等により半田部の亀裂が進行して、回路が導通不良となることがある。そのため、半田部の亀裂箇所によっては、警告灯が点灯せず、衝突時にエアバッグが作動しないおそれがある。また、フェールセーフ機能がはたらいて警告灯が点灯するとともに、エアバッグが作動しなくなるおそれがある。			

3. 届出者：株式会社アイチコーポレーション

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月3日	1322	車名：いすゞ 型式：KG-NHR69CV等 通称名：エルフ	54	平成10年5月28日～ 平成11年12月10日
不具合の部位等	高所作業車において、排気管の取付け作業が不適切なため、クランプの爪部に隙間が生じているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該クランプのボルトが折損して排気管がずれ、近くに格納されている木製ジャッキベースに直接排気ガスが当たり、ジャッキベースが焦げ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

4. 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月7日	1317	車名：三菱 型式：KF2D等 通称名：三菱フォークリフト	28	平成16年1月8日～ 平成16年8月25日
不具合の部位等	警音器において、特殊アタッチメント等を装着した場合、正規の取付位置に装着していないため、音の大きさが基準値を下回り、警音器の技術基準に適合しなくなるおそれがある。			

5. 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月7日	1318	車名：三菱 型式：F30A 通称名：三菱フォークリフト	2	平成16年3月26日～ 平成16年8月31日
不具合の部位等	警音器の警報音発生装置において、正規の部品と異なった部品を装着したため、警音器の警報音発生装置の技術基準に適合しない。			

6. 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月7日	1319	車名：三菱 型式：KFB1A等 通称名：三菱バッテリーフォークリフト	13	平成16年1月14日～ 平成16年7月15日
不具合の部位等	警音器において、警音器の警報音発生装置の技術基準に適合しない警音器を装着したため、警音器の警報音発生装置の技術基準に適合しない。			

7. 届出者：TCM株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月10日	1325	車名：TCM等 型式：S33等 通称名：L32等	79	平成14年1月22日～ 平成16年7月26日
不具合の部位等	トランスミッションのステアポンプ駆動部の構造が不適切なため、当該駆動部（ドライブスリーブ部）に潤滑油が供給されにくく、そのまま使用を続けると、ドライブスリーブのスプラインが摩耗するものがある。そのため、最悪の場合、ステアポンプとブレーキアシストポンプが駆動できなくなり操舵不能になるとともに、駐車ブレーキが解除されず走行不能に至るおそれがある。			

8. 届出者：株式会社アトランティックカーズ、新東洋企業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
12月10日	外1184	車名：アトマー-F 型式：不明 通称名：V12ガンキッシュ	56	平成13年11月30日～ 平成16年9月24日
不具合の部位等	アクセルペダルのクロスシャフトをスロットルハウジングに固定するピンの取り付けが不適切なものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、アクセルペダルが脱落することがあり、最悪の場合、アクセルペダルの操作ができなくなるおそれがある。			

9. 届出者：小松フォークリフト株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月14日	1311	車名：小松 型式：M187等 通称名：-	55	平成13年4月25日～ 平成16年10月1日
不具合の部位等	ステアリング用ナックルのタイロッド取付け部の強度が不足しているため、据え切り操作の繰り返しにより、当該取付け部に亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、当該取付け部が破損してタイロッドが外れ、ハンドル操作ができなくなるおそれがある。			

10.届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月17日	外1190	車名：BMW 型式：GH-UF20 通称名：120i	2	平成16年10月13日～ 平成16年10月14日
不具合の部位等	ステアリングコラム スイッチクラスターに組み込まれた、方向指示器及びワイパーの信号を制御するプロセッサの取り付けが不適切なため、信号が時々断続することがあり、方向指示器及びワイパーが作動しなくなるおそれがある。			

11.届出者：株式会社加藤製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月20日	1326	車名：カトウ 型式：KC-KA5151 通称名：-	19	平成8年3月28日～ 平成13年1月12日
不具合の部位等	燃料噴射ポンプの燃料噴射量を制御するラックの切欠き溝の強度が不十分なため、高回転域での使用を続けると当該ラックが折損し、エンジン回転が上昇して、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

12.届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月21日	1327	車名：スカア等 型式：不明等 通称名：日野スカア	50	平成15年4月2日～ 平成16年9月3日
不具合の部位等	リヤナンバープレート取り付けブラケットの強度が不足しているため、当該ブラケットに亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、当該ブラケットが脱落して他の交通の安全を妨げるおそれがある。			

13.届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月22日	1336	車名：いすゞ 型式：P-LT312J等 通称名：-	42	昭和59年8月21日～ 平成2年6月8日
不具合の部位等	バスの非常口横の前転倒式座席において、転倒防止金具が取付けられていないものがある。そのため、急ブレーキにより乗客が後方より当該座席に倒れかけるとヒンジの固定が外れ、最悪の場合、座席が転倒するおそれがある。			

14.届出者：ハーレーダビッドソンジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
12月22日	外1189	車名：ハーレーダビッドソン 型式：GHV等 通称名：FXDダイナ・スーパーグライド等	4	平成15年11月20日～ 平成16年9月15日
不具合の部位等	ボルテージ・レギュレーターにオプションのアクセサリ・カバーを取り付けた場合に、当該カバーとフロントフェンダー（泥よけ）の隙間が少ないため、フロントサスペンションが最も縮むような特定の条件下で使用すると、当該カバーにフロントフェンダーが接触することがある。このため、当該カバーにフェンダーが噛み込むことがあり、最悪の場合、操縦不能になるおそれがある。			

〔参考〕

平成16年12月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	27件	16件	11件
輸入車	10件	7件	3件
計	37件	23件	14件

対象台数の追加の届出については届出件数に含みません。

（問い合わせ先）

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室 森田、久手
 電話 03-5253-8111（代表）（内線42352・42353）